

# ねぎぼうず便り



学校法人  
藍香学園 深谷大里看護専門学校

2012年1月  
新年号 Vol.08

## 新年おめでとうございます



学校法人藍香学園  
深谷大里看護専門学校  
学校長 大坪 公子

新年おめでとうございます。皆様明るく希望に満ちた新年をお迎えのことと思います。

3年生はケーススタディ発表会も終わり、国家試験のために真剣に看護学・医学の勉強に取り組んでいることでしょう。良い看護師になるためには、人を思いやるやさしい心、愛の心が何より大切なのですが、それだけでは不十分です。しっかりとした学問に裏打ちされた知識が重要なのです。自信を持って看護の現場に立てるように、しっかりと学問をして下さい。「一生のうちで一番勉強した」と思い返されるように力の限り勉強して下さい。クラス全

員が合格できるよう頑張ってください。

2年生は臨地実習も進み、患者さんに接して看護の持つ力や面白さを知り、先輩看護師さんたちの看護の素晴らしさに驚いていることでしょう。看護は病める人に希望と勇気を与える特別な仕事で、看護師だけが持っている「看護の技」があるのです。この看護の技はアートと言われるもので、心と心が触れ合って始めて良い看護ができるのです。看護師は教養を積んで、病に苦しむ弱い人の気持ちを理解し、寄り添って病を治す力にならなければなりません。看護師は心豊かで広く深く「教養」を身に付け、「人間」として尊敬される人にならなければなりません。幅の広い勉学をお勧めします。

1年生は基礎看護を学び、臨地実習も始まり、看護師はこんなことをするのかと少し理解してきた頃と思います。あなた方が看護の道を選ばれたことは大変良いことなので、迷いなく勉学をしてこの道を進んで下さい。良き先輩たちを見習って自分の人生設計を考えて楽しい看護学校生活をお過ごし下さい。

さて今年、この学校にとって良いことがおこる年です。それは二年課程通信制のコースを開設するからです。准看護師として10年以上のキャリアのある人たちに対し、通信教育で勉強して頂き、国家試験を受けて看護師になってもらうコースです。日本の看護界において、看護力向上に役立つ良い仕事と思います。定員200名のこのコースを立派に運営していこうと教職員一同張り切って準備しています。既に数十名の希望者が集まってきています。

皆様、学校の庭が少しずつ変わってきているのを知っていますか。樹や草花を植えて看護学校らしい雰囲気を作ろうと努力しています。春が来るのが楽しみです。学生も教職員も自分のすべきことを力一杯行い、希望に満ちた春を迎えましょう。

## 愛の血液助け合いの集い

献血の体験発表 — 2011年8月8日 —



平成23年8月8日、埼玉会館で開催された「第42回彩の国さいたま 愛の血液助け合いの集い」で、本校3年大谷玲子さんが献血の体験発表をしました。

初めて献血を体験してから6年が経ち、現在は臨地実習で輸血療法を受ける患者様とも出会う看護学生となった大谷さんが、自ら体験した献血の大切さを発表しました。

献血の体験だけでなく、実習を通して体験した献血の大切さ、

輸血の難しさをテーマにした発表は、参加した多くの聴衆に感銘を与えたようです。

# ケーススタディ発表会

ケーススタディ発表会を終えて -2011年11月9日、10日- 3年 ケーススタディ委員



14回生のケーススタディ発表会のテーマは『絆～私たちが生み出した奇跡の記録、今大きな一つの輪に～』でした。

ケーススタディ発表会にあたり、2日間のリハーサルでは当日の進行をスムーズに行うために、各係りに分かれ意見を出し合いながら打ち合わせを重ねました。また、より良い発表ができるように、一人ひとりが原稿を何度も読み重ね発表会当日を迎えました。発表会当日では、ほどよい緊張感の中、35名全員が胸を張って発表することができました。

また、1、2年生から発表内容に対して多くの質問が飛び交い、会場にいる参加者全体で発表会を作り上げることができました。

お忙しい中、実習施設の指導



者の皆様にご出席を賜り、ご意見やご感想をいただいたことで看護への自信が付き、今後の課題を見出すことができました。そして発表会終了後、35名全員が達成感を得られたとき、大きな一つの輪を作り上げることができました。実習やケーススタディでの学びをふまえ、臨床の現場でもよりよい看護が行えるよう、今後も学ぶ姿勢を持ち続けていきたいと思えます。

ケーススタディ発表を聴いて -2011年11月9日、10日- 1年 森下 明代

今回、初めてケーススタディの発表を聴かせていただき、1年生である私たちにとってもとても良い刺激となりました。

患者様の今ある状態の観察・情報から、考えられる未充足は何か、それに対する解決策や実際に行われた援助などが科学的根拠に基づいて丁寧に記されており、先輩方の患者様に対する関わりの深さと細やかさにとても感動しました。患者様の個別性に合わせたパンフレットやおもちゃの作成など、様々な工夫がなされていたことや、会話や行動から心理的变化を捉え患者様の気持ちに寄り添って懸命に援助していたことが研究の中から読み取ることができ、再び看護の在り方について考える機会を与えていただけたように思えます。



また、前期で学んだ基礎看護学の重要性を再確認することができました。私たち1年生も今出来ることに全力で向かい、日々の学びを大切に、患者様に必要とされる援助が提供できるよう、共に助け合い惜しまぬ努力を続けていきたいと思えます。

# 秋の学生交流会

秋の交流会を終えて -2011年10月14日-

2年 関根 麻由

秋の交流会は、地域のごみを拾いながらのオリエンテーリングを行いました。学校周辺を各学年混合チームでチェックポイントを目指して歩き、出題される国家

た。私は、運動する機会が少なくて少ない他学年と、勉強や実  
ことがきました。  
先輩からは領域別実習に向け  
ました。また後輩からは、基礎  
しい気持ちになり、初心に返り  
グループでゴミの重さと問題  
真剣で歓声や笑い声が聞かれ、

交流会を通して、他学年との交流が深まり、情報交換もでき、有意義な時間が過ぎました。

実行委員の皆さん、準備や運営お疲れ様でした。



試験の問題を智恵を出し合い解いていきましかつたので良い気分転換となり、普段関わるこ  
習のことを話しながら楽しい時間を過ごすこ

でのアドバイスをいただき、とても参考になり  
実習やテスト勉強についての質問があり、懐か  
気持ちが引き締まりました。

の正答率を競い合いましたが、どのグループも  
和気あいあいとした雰囲気でした。

心に残った交流会 -2011年10月14日-

1年 片田野 舞



私は今回、交流会係として2年の先輩方と共に準備の段階から参加しました。先輩方は交流会を  
より良いものにしようと色々考えており、楽しい交流会の裏には多くの人たちが関わり、苦労があ  
ることを感じました。

今回のテーマは「リフレッシュ運動」ということで、市内のゴミ拾いをしながらクイズに解答し  
ていく、という内容でした。1年生は、日々の勉強から開放されて気分転換になったのではないか  
と思います。私は一緒に歩けなかったのですが、学内から出て外での活動は、気分転換になったし

楽しかったです。また交流会は先輩方と関われる場でもあり、実習についてや勉強の方法など、多くのことを教えていただき参考  
になりました。

来年の交流会は、私達が主催して行うので、先輩方からの伝統を受け継ぎ、楽しい交流会にできるように頑張りたいと思います。

# 深谷市福祉健康まつり

福祉健康まつりに参加して -2011年10月23日-

2年 古家 里眞



私たち2年生は、深谷市で行われた福祉健康まつりに参加させていただきました。  
地域の方々が興味をもち、喜んでもらえるようにと、ナースキャップ作り・赤  
ちゃん抱っこ体験・アルコールパッチテストを行いました。3つのブースに分かれ、  
様々な方々と多くの交流をさせていただくことができました。

私はアルコールパッチテストの担当となり、準備のときに二日酔いの予防法・  
対策のパンフレットを作成しました。パンフレットの内容をどうしたら地域  
の方々に興味を持ってもらえるのか、参考となるものになるのか悩み、いろいろ工夫  
しました。当日来てくださった女性の方に作成したパンフレットを渡し、簡単な  
説明をすると「うちのお父さんがお酒を飲むから渡します」と言って受け取っ  
て下さいました。使っていただけるパンフレットを作成するには、時間をかけ見る人

のことを考え、いろいろ工夫する必要があることを学ぶことができました。また、高齢者の方から小さな子供に喜んで参加して  
いただくことができました。様々な方と関わり、年齢にあわせて、実際どのようにコミュニケーションをとれば良いのかを学ぶこと  
ができました。この経験を領域別実習に生かし、全員で1年間乗り切っていきたいです。

# 授業拝見

世界中の宝物に逢って -2011年11月15日-

1年 大内 麻夕子



国際交流論では、色々な国の方が講師としていらして、さまざまな国の特徴を教えてください、民族衣装や歌を披露してくださいました。また日本の文化を知ってもらうため、浴衣を着たり、折り紙で絵のプレゼントをしました。中でも心に残っているのは、私のグループ担当だったミャンマーの先生のお話です。ミャンマーは愛と微笑みの国と言われており、人をとても大切に作る習慣があり、そのためいじめや自殺も少ないそうです。日本は自殺率が増加しています。まず身近な人へ愛情を向け、自分も他人も大切にすることが今の私達には必要だと感じました。文化や習慣の違いで生じた誤解のため、日本と交流が少ない国もありますが、それを越えた素晴らしい文化があることを知り感動しました。他国の良いところを取り入れ、人間的に成長していきたいです。世界中には、満身に医療を受けられない人々がたくさんいます。その人々にも目を向けて、日々学習を続けていきたいと思えます。

# 赤十字奉仕団結成

深谷大里看護専門学校赤十字奉仕団設立挨拶

-2011年11月9日-

委員長 田口達朗

私たち深谷大里看護専門学校在学有志48名は、人の助けになりたい、社会に貢献したいという想いを胸にボランティア活動に参加するため、ここに集まりました。

この想いのほじまりには、3月11日の東日本大震災があったと思います。地震や津波は私たちの想像をはるかに



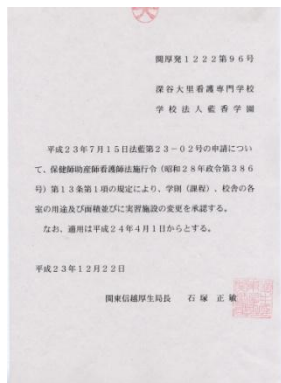
を超える大きな被害を東北の人々にもたらしました。被害を目の当たりにしても、私たちは手を差し伸べることはできず、物資を送るにも本当に必要としているものなのか、必要としている人に届いているのかもわからない。そんなもどかしい気持ちだったと思います。

そんな中、春休みを利用して深谷赤十字病院でのボランティア活動に参加した人や、自主的に物資の提供をした人たちもいました。こういった個々の活動をより効果的に、本当に困っている人に温かく心の通った支援をするためには、組織作りや日ごろからの心構えが必要だと考えました。

その第一歩として、私たちは今回深谷大里看護専門学校赤十字奉仕団を設立することになりました。皆で協力して、災害時の支援はもとより、社会福祉、種々のボランティア活動に積極的に参加したいと思います。そして、この活動をとおして人として成長できるように努力していきたいと思えます。

# 2年課程通信制開設 -平成24年4月1日

## 2年課程通信制の開設が承認されました



深谷大里看護専門学校は、現行の3年課程に加えて「2年課程通信制」を開設するための変更承認を申請していました。

このたび、関東信越厚生局から平成23年12月22日付で正式に承認され、平成24年4月から開設の運びとなりました。

入学資格は、准看護師の資格取得後、准看護師として10年(120ヶ月)以上業務に従事した方です。入学定員は200名です。

3年課程同様、専門職業人として社会に貢献できる看護師を育成してまいります。関係各位のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2年課程通信制の詳細は：[http://www1a.biglobe.ne.jp/ranka/tushin\\_00.html](http://www1a.biglobe.ne.jp/ranka/tushin_00.html)でご確認ください。